

平成11年度における砂防に関する調査研究

石倉一志¹⁾、数井智幸¹⁾

平成11年度に砂防情報課で収集、調査した資料は次のとおりである。

(1) 立山砂防工事事務所に関する完成した砂防施設の調査 (表1)

- 総括表
- 年度別内訳

(2) 立山砂防工事事務所に関する気象資料の整理 (表2)

- 水谷及び千寿ヶ原観測所における降雨データ
(最大日降水量、24時間日降水量、最大1時間及び3時間降水量)

表1 完成した砂防施設数総括表

平成12年3月31日現在

流域区分	砂防ダム(基)	床固工(基)	山腹工(箇所)	合計
本川(湯川・真川合流点)	(10)	(6)		(16)
湯川	(80)	(44)	(1)	(125)
本川	20	2	1	23
水谷沢	3	9		12
有峰1～3の谷		7		7
泥谷	21	3		24
多枝原谷				0
本川	25			25
六九谷	5	4		9
新谷	1	19		20
西谷	5			5
兔谷				0
滝谷				0
真川	(4)			(4)
本川	2			2
スゴ谷	2			2
称名川	(13)	(38)		(51)
本川	9	36		45
細谷	4	2		6
合計	(107)	(88)	(1)	(196)

※山腹工は、土砂整備カウント対象箇所のみ計上

¹⁾立山カルデラ砂防博物館砂防情報課

表2 気象状況等の整理

年度	区分	災害状況	最大日降水量		24日降水量		1時間降水量		3時間降水量		ダム	床固	累計
			水谷	千寿ヶ原	水谷	千寿ヶ原	水谷	千寿ヶ原	水谷	千寿ヶ原			
大正15年		山地部											
昭和26年	直轄砂防事業開始	下流扇状地											
昭和27年	雨量観測開始												
昭和28年	7月1日洪水												
昭和29年													
昭和30年													
昭和31年													
昭和32年													
昭和33年													
昭和34年	7月5～13日洪水												
昭和35年													
昭和36年													
昭和37年													
昭和38年													
昭和39年	7月19日高山崩壊												
昭和40年													
昭和41年													
昭和42年													
昭和43年													
昭和44年	8月11日北陸地方を襲った集中豪雨による洪水												
昭和45年													
昭和46年													
昭和47年													
昭和48年													
昭和49年													
昭和50年													
昭和51年													
昭和52年													
昭和53年													
昭和54年													
昭和55年													
昭和56年													
昭和57年													
昭和58年													
昭和59年													
昭和60年													
昭和61年													
昭和62年													
昭和63年													
平成1年													
平成2年													
平成3年													
平成4年													
平成5年													
平成6年													
平成7年													
平成8年													
平成9年													
平成10年													
平成11年													

(注)1. 降水量データは、6～10月 2. 災害とは直接結びつかないこともある。

表3 立山砂防における砂防施設 総括表

年度	ダム		累計(基)	床固工		累計(基)	累計総数
	名称	ダム		名称	基		
昭和7年			—			—	—
昭和8年			0			0	0
昭和9年			0			0	0
昭和10年			0			0	0
昭和11年			0			0	0
昭和12年	本宮		1			1	1
昭和13年	混谷第1～19号		20			20	23
昭和14年	白岩		21			21	24
昭和15年	湯川第1～9号		21			21	24
昭和16年			30			30	33
昭和17年			30			30	33
昭和18年			30			30	33
昭和19年			30			30	33
昭和20年			30			30	33
昭和21年			30			30	33
昭和22年			30			30	33
昭和23年			30			30	33
昭和24年			30			30	33
昭和25年			30			30	33
昭和26年			31			31	34
昭和27年	松尾		31			31	34
昭和28年			31			31	34
昭和29年			31			31	34
昭和30年			31			31	34
昭和31年			31			31	34
昭和32年	鬼ヶ城		32			32	35
昭和33年			32			32	35
昭和34年			32			32	35
昭和35年	サブ谷		33			33	36
昭和36年			33			33	36
昭和37年	水谷第3, 2号		33			33	36
昭和38年			35			35	38
昭和39年	瀬戸崎		36			36	39
昭和40年	有峰第1号		37			37	40
昭和41年	多枝原第1, 2号		39			39	42
昭和42年	有峰第2号、水谷沢第1, 2号、混谷第20号、多枝原第4号		44			44	47
昭和43年	多枝原第6～11, 19号		51			51	55
昭和44年			51			51	55
昭和45年	多枝原第12～18, 20号		59			59	63
昭和46年	多枝原第3, 5号、称名第1号		62			62	66
昭和47年	水谷第4号、天鳥		64			64	72
昭和48年	細谷第1号、雄毅		66			66	74
昭和49年	六九谷第2, 3号		68			68	77
昭和50年	六九谷第1号、称名第2号、細谷第2号		68			68	77
昭和51年			71			71	84
昭和52年	有峰第1号		72			72	87
昭和53年	水谷第1号		75			75	92
昭和54年	有峰第3号、真川第1号、スゴ谷第1号		75			75	99
昭和55年	有峰第2号		76			76	106
昭和56年	雄毅第2号		77			77	111
昭和57年	白岩下流		78			78	116
昭和58年	有峰第4号		82			82	124
昭和59年	多枝原第25号、スゴ谷第2号、空谷		85			85	131
昭和60年	西谷第1号、雄毅第3号		87			87	141
昭和61年	西谷第1号、真川第4号、西谷第3号		88			88	149
昭和62年	多枝原第27号、六九谷第4号、混谷第2号		90			90	161
昭和63年	六九谷第5号、細谷第3, 4号、西谷第4号		94			94	170
平成11年	水道沢、多枝原谷基幹、称名第4号		97			97	176
平成23年	七郎、桂		99			99	178
平成34年	新谷基幹、西谷基幹		101			101	180
平成55年			101			101	183
平成66年			101			101	184
平成77年	雄毅第4号		102			102	184
平成88年	妙海砂防、津之浦下流		104			104	185
平成99年			104			104	187
平成100年			104			104	188
平成110年	称名第3号、多枝原谷ガワ浸食防止第3号、青パン谷		107			107	191
計			107			107	196